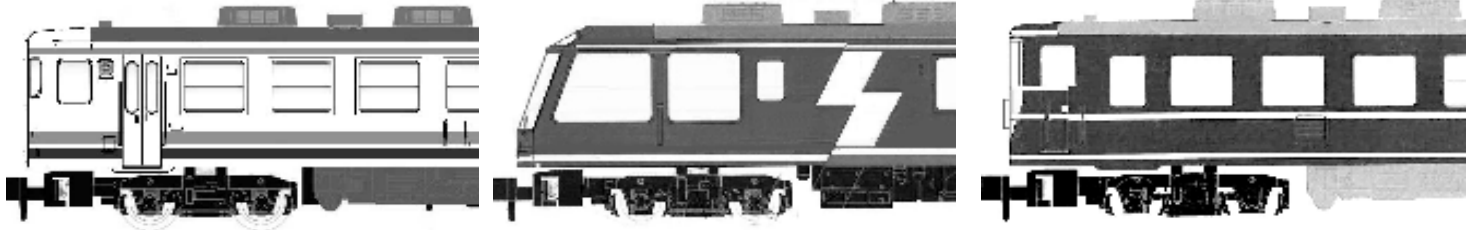


製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

A1859	12系お座敷客車 「カヌ座」+「サロン佐渡」 7両セット	予価:17,500円(税別) JANコード:116661 カートン内入数:12
A2682	12系 お座敷客車「江戸」 6両セット	予価:15,000円(税別) JANコード:119808 カートン内入数:12
A2683	12系 お座敷客車「ナコ座」 6両セット	予価:15,000円(税別) JANコード:119815 カートン内入数:12



A1859

A2682

A2683

商品形態 Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入)

実車 国鉄末期の1980年代、余剰となった12系急行型客車を活用し、お座敷列車やサロンカーに改造された「ジョイフルトレイン」が各地に登場しました。外装、内装ともそれぞれに特色が盛り込まれていました。
【A1859】 1981(昭和56)年、新潟運転所上沼垂支所へ配置された6両編成のお座敷客車で、1985(昭和60)年には洋風サロンカーの「サロン佐渡」となるオロ12 702を組み込み、7両編成となりました。塗装が度々改められ、登場当初はオリジナル12系同様の塗装でしたが、1988(昭和63)年には白地に赤とオレンジの帯を巻いた姿に、1996(平成8)年にはダークグリーンを基調に金色の帯を巻いたシックなものとなりました。
【A2682】 1985(昭和60)年度、尾久客車区に配置された6両編成のお座敷客車で、編成両端の展望室は傾斜した大型のガラスを組み合わせたもので、直線的なデザインと車体色の青があいまって独特の雰囲気を持つ列車となりました。展望室はお座敷客車ながらソファが設置されたサロン室とされています。首都圏を中心に活躍を続けましたが、2000(平成12)年に引退しました。
【A2683】 1983(昭和58)年、名古屋鉄道管理局に配置されたお座敷客車で、オリジナルの12系同様の塗装でしたが、編成両端の車両は車体の約半分がサロン室とされ、開放式の展望デッキが設置されたのが大きな特徴です。金の鯨をモチーフとしたテールマークを掲げて、主に中京地区を中心に活躍を続けましたが、1999(平成11)年6月に引退しました。

商品概要

- ・マイクロエース客車シリーズの更なる充実。
- ・国鉄末期に登場し人気を集めたジョイフルトレインなどを5種同時発売。
- ・基本的な構造はA1852・A1853, 12系お座敷客車を踏襲しつつ、新規ボディにより各編成を再現。
- ・テールライト点灯。LEDを採用。
- ・走行には別途機関車が必要です。
- ・部品共用のため、一部ディテールが実車とは異なります。

A1859

- ・「カヌ座」編成の1988(昭和63)年頃の姿、白地に赤とオレンジ帯の時代を再現するセット。
- ・「サロン佐渡」を組み込み。
- ・編成

スロフ12	オロ12	オロ12	オロ12	オロ12	オロ12	スロフ12
805	809	810	706	811	812	806

←ライト ライト→

JR東日本商品化許諾済

A2682

- ・「江戸」編成の登場直後の姿を再現するセット。
- ・スロフ12の特徴的な展望室を座席まで含めてリアルに再現。
- ・愛称幕点灯。
- ・編成

スロフ12	オロ12	オロ12	オロ12	オロ12	スロフ12
825	849	850	851	852	826

←ライト ライト→

JR東日本商品化許諾済

A2683

- ・「ナコ座」編成のJR時代、大型JRマークが貼られていた頃を再現するセット。
- ・展望デッキの手すりにはエッチングパーツを採用。
- ・愛称幕は点灯しません。
- ・編成

スロフ12	オロ12	オロ12	オロ12	オロ12	スロフ12
915	829	830	831	832	916

←ライト ライト→

JR東海商品化申請中

オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロプラー自連・黒:F0003
付属品 行先ステッカー1枚